

令和5年度第4回木津川市介護保険事業計画等策定委員会 会議経過要旨

会議名	令和5年度 第4回木津川市介護保険事業計画等策定委員会																					
日時	令和5年10月30日(月) 午後2時～午後2時45分		場所	木津川市役所5階 全員協議会室																		
委員 ■：出席 □：欠席		<table border="0"> <tr><td>■安藤会長</td><td>■兎本副会長</td><td>■馬副会長</td></tr> <tr><td>□光井委員</td><td>□岩本委員</td><td>■山本委員</td></tr> <tr><td>■鴨田委員</td><td>□井上委員</td><td>■石塚委員 ■辰巳委員</td></tr> <tr><td>■小石委員</td><td>■内藤委員</td><td>■村田委員 □入江委員</td></tr> <tr><td>■木下委員</td><td>■大前委員</td><td>■泉委員</td></tr> <tr><td>■島本委員</td><td>■山川委員</td><td>■新井委員 □金森委員</td></tr> </table>			■安藤会長	■兎本副会長	■馬副会長	□光井委員	□岩本委員	■山本委員	■鴨田委員	□井上委員	■石塚委員 ■辰巳委員	■小石委員	■内藤委員	■村田委員 □入江委員	■木下委員	■大前委員	■泉委員	■島本委員	■山川委員	■新井委員 □金森委員
■安藤会長	■兎本副会長	■馬副会長																				
□光井委員	□岩本委員	■山本委員																				
■鴨田委員	□井上委員	■石塚委員 ■辰巳委員																				
■小石委員	■内藤委員	■村田委員 □入江委員																				
■木下委員	■大前委員	■泉委員																				
■島本委員	■山川委員	■新井委員 □金森委員																				
出席者	事務局		山本健康福祉部長、平野健康福祉部次長、 竹村高齢介護課長、中西高齢介護課主幹、 林高齢者福祉係長、木村介護保険係長、 赤岩高齢者福祉係担当係長、森川介護保険係担当係長、 岡田主任、中畠主任 株) サーベイリサーチセンター杉原氏、片山氏																			
傍聴者	0名																					
議題	(1) 第10次木津川市高齢者福祉計画・第9期木津川市介護保険事業計画の中間案について																					
会議結果要旨	<p><b>1 開会</b>  <b>開会宣言</b>  委員15名の出席により、会議が成立していることを確認した。  (成立確認後1名出席され、出席委員16名となった。)</p> <p><b>2 会長あいさつ</b>  安藤会長から開会のあいさつがあった。</p> <p><b>3 議題</b>  安藤会長が議長となり、議事を進行した。</p> <p><b>① 第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の中間案について</b>  事務局より第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の中間案について説明した。</p> <p><b>4 今後の予定について</b>  事務局より今後の予定について説明した。</p> <p><b>5 閉会</b></p>																					

<p>会議経過要旨</p> <p>◎：会長 ○：委員 ⇒：事務局</p>	<p><b>1 開会</b> 会議結果要旨のとおり。</p> <p><b>2 会長あいさつ</b> 会議結果要旨のとおり。</p> <p><b>3 議題</b></p> <p><b>① 次期計画の中間案について</b></p> <p>【資料1】第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画中間案 【資料2】見込量等の素案</p> <p>【説明】資料に基づき説明した。</p> <p><b>【主な質疑・応答、意見】</b></p> <p>○：資料21ページ（2）外出機会・在宅生活への支援について、閉じこもりになることによる孤立の問題もある。今回のアンケートでは、外出を控えている理由として「交通手段がない」は減少しているが、加茂地域では高齢化率が高くなり、交通手段がなく閉じこもり気味になっているという現状がある。介護予防教室にも送迎があれば参加できるという方もおられるが、送迎に関する支援の記載はないのか。</p> <p>⇒：交通機関についての記述は、明記していない。地域の支え合い活動として、社協を含めたボランティア側と支援を受ける側のマッチングについて記載している。移動支援はこれからの課題だが、介護保険だけで実施することは難しく、公共交通機関との協議を要する。地域共生ではボランティア活動のバックアップをしていきたいと考えている。加茂圏域の大きな特徴として、高齢化による自動車の運転が困難な方の増加や公共交通の縮小ということを認識し、特記している。</p> <p>○：資料56ページ「高齢者虐待について、どこに相談したら良いのか知らない人の割合」について、本計画の目標値20.0%未満とあるが、どういった判断基準でこの数値としたのか。20.0%未満という表現の仕方では弱いと思う。限りなく0%に近づける記載にはできないか。</p> <p>⇒：アンケート調査では、「知らない」と答えた人の割合が、前回は20.0%だったのに対し、今回は23.3%と上昇していた。せめて前回の数値以下まで下げたいという思いで20.0%未満と設定した。</p> <p>○：20.0%未満というのは姿勢として弱いのでは。</p> <p>⇒：前回より上昇している状況について危惧している。限りなく0%というのは大きな目標だと思うが、まずこの3ヶ年については現状よりも良くするという意気込みでこの数値を設定した。虐待に限らず高齢者の相談窓口の啓発については、市としても強化が必要と考えている。目標は高くするべきだが、現時点では前回の20.0%よりは下げていきたいと思う。</p>
--	---

	<p>○：各圏域の活動について、社会福祉協議会が山城総合医療センターと協働で実施している認知症カフェが記載されていない。相楽圏域全体での取組だが、山城病院総合医療センターと一緒に取り組み、地域の安心に大きく貢献している事業であるため明記いただきたい。</p> <p>⇒：各圏域の活動は、市から委託しているものを記載している。社協を含め、独自で実施されているもの、その他事業所で実施しているものをすべて記載すると煩雑になるため、文章での記載を検討する。</p> <p>○：資料 45 ページ「高齢者の介護に関わるヤングケアラー等」とあるが、8050問題も入れてはどうか。</p> <p>⇒：様々な問題という意図で「等」と記載し、8050問題も含めている。43 ページの重層的支援体制整備において、部内で断らない相談窓口を実施している。8050問題、ヤングケアラー、ダブルケアについて総合的な支援体制を構築することで充実を図る旨明記しているためご了承願う。</p> <p>以上の意見等を踏まえて資料を修正し、修正内容について会長に確認いただいた後、中間案としてパブリックコメントに進んでいく旨を報告した。</p>
4 今後の予定について説明	<p>【資料】 計画策定スケジュール・次回策定委員会の日程調整表</p> <p>【説明】 パブリックコメントの募集期間について 令和5年11月27日（月）～12月26日（火）実施予定。 資料に基づき、今後のスケジュールについて説明した。 12月下旬に第5回の実施を予定。</p> <p>かいご・ふくし就職フェアの開催について 令和5年11月4日（土）に市役所1階で開催。来場者数がまとまり次第、計画の中間案に記載する旨を報告した。</p>
5 閉会	以上
その他特記事項	なし